

# PRESS RELEASE



## 住宅地の小学校前に幹線道路接続が計画されています。 子供たちの安全確保のために反対しています。

あなたの住宅地の小学校前に幹線道路が接続されたらどうですか。しかも共働き家庭など放課後も小学生を夕方まで預かってくれる学童保育施設の前です。薄暮時には児童を迎えにこられる車がひっきりなしに集まります。

このようなところに幹線道路接続計画は、危険極まりなく、不条理であると考えています。将来の人口減少を見越しての生駒市の住宅地開発計画に反対していません。道路計画だけは変更していただきたいと反対署名2600筆提出いたしましたが、先日生駒市から奈良県に計画は提出されました。東生駒南自治会では、特別委員会を立ち上げ、反対活動を続けています。

### 東生駒南自治会反対決議の背景

国をあげて異次元の少子化対策等、子育て支援への取組が始まっています。生駒市として例外ではなく、～みんなで創る、日本一楽しく住みやすいまち・生駒を目指して～を市政基本方針に掲げ、「安全で、安心して健康に暮らせるまち」「未来を担う子どもたちを育むまち」への取組などが評価され県内でもトップクラスの人気住宅地となっています。

しかしながら今回「吉部北地域開発計画」では生駒東小学校前の通学路、小学校に併設された学童保育施設前に幹線道路がまともに当たることになり、交通事故発生確率が增大することが予想されます。他の開発地へのアクセス手段には諸問題があると生駒市からは説明されていますが、それに取組むことなく今回安易な道路計画は当住宅地の児童をはじめとした歩行者の安全を脅かすものであります。

----- 開発予定地 -----



図1：大和都市計画用途地域等の変更について 生駒市公式HPより

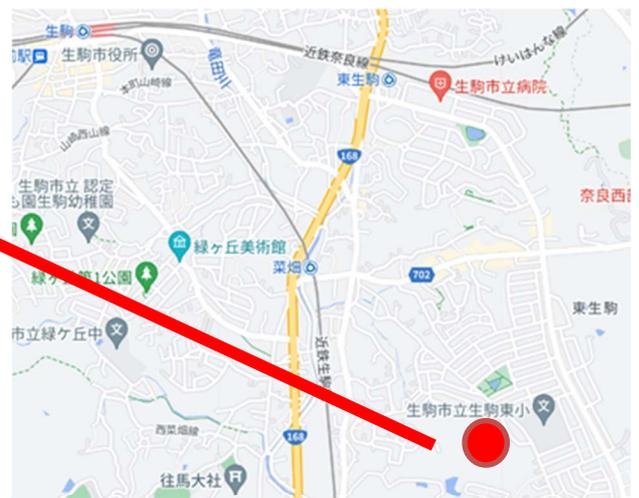


図2：Google mapより

開発予定地域は生駒市吉分町。旧集落に隣接して開発も進んでいるが、道路は狭隘で地元住民は不便を強いられていることは確かである。今回の開発計画は12.5haと大きいうえに、12mの幹線道路を既存住宅地の小学校前に施設するというもの。また開発地域だけでなく開発周辺地域からも当住宅地への自動車の流入、国道168号線からの抜け道としての交通量の増大が予測され、生活道路の危険が大幅に上昇します。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

東生駒南自治会 会長 秋山 眞 TEL：090-1024-4627

## 生駒市の開発計画と問題点（反対する理由）

1. 新設される幹線道路が住宅地の生駒東小学校に突き当たり危険である。  
 幹線道路は通学路を横切り小学校、しかも学童保育施設の入口に接続されるため、児童の安全が担保されていない。  
 学童施設では、夕暮れ時に迎への保護者の車が停車され、ここに幹線道路が、坂道の下り道で出会うことになります。
2. 計画道路から侵入した自動車は住宅地の幼稚園前も通ることになり危険  
 流入自動車の過半の出口となる東生駒 2 丁目交差点に出るためには、住宅地にある菜畑幼稚園を通ることになる。  
 小学校、幼稚園前に幹線道路から自動車交通量を増大させることは非常識。児童、園児の安全確保のためにも反対。
3. 開発地以外の吉分地域住民の道路利用も想定され、交通量が 5 倍以上増大する。  
 自治会では正確な交通量予測が不可能であるが、現在平日 104 台に対して将来（幹線道路接続後）491 台と約 5 倍に増加します。（休日の試算は、現在 86 : 476 台）
4. 高齢者ドライバーが住宅地に侵入することになり、ますます危険性が増大する。  
 直接被害を受ける当自治会エリア以外、特に狭隘な道路が施設されている吉部エリアの住民には当然のことながら当計画は好意的に受け止められています。しかしながら、開発住宅地以外周辺の住民の高齢化は進展しており、免許返納前の高齢者が新設道路を経由して当住宅地を抜け道として利用されることでしょう。これは高齢者が低速走行をすと言っても危険です。現在最も危険なのは、免許返納前の高齢者の自動車運転です。校区の児童が犠牲になることは断固許されないことです。

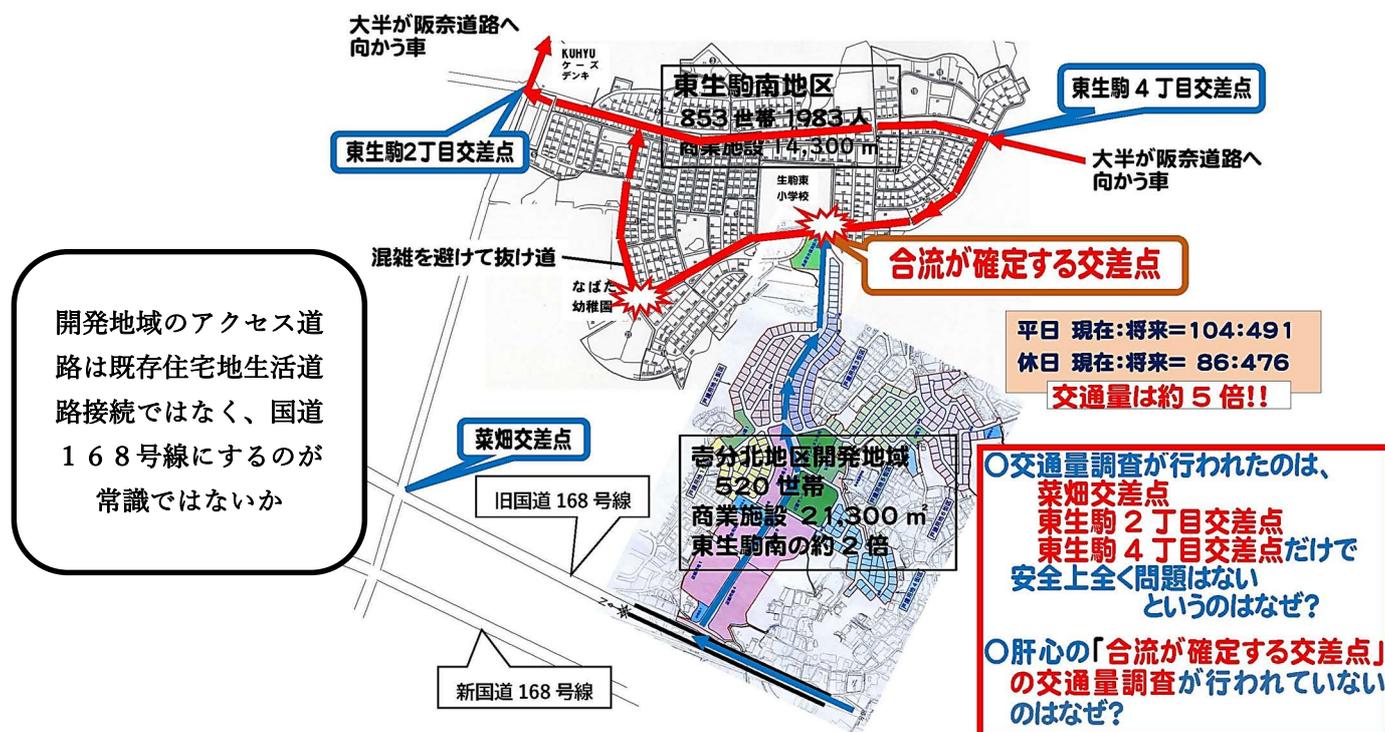


図 3：当自治会反対資料 より

☆☆特に危険な接続部☆☆

この辺りに道路が接続

南側から道路接続地点を撮影。右に見えるのは学童保育施設。これに続く緑地帯は小学校グラウンドの裏側。



図4

ここに幹線道路接続

北側より夕方の学童保育施設前を撮影。お迎えのお母さんの車が並ぶ。前から2台目あたりの反対側が幹線道路接続地点となる。



図5

学童保育施設前から道路接続地点を臨む。地形上、下り坂を下りた状態で学童保育施設にまともに当たる。

12m道路接続  
地点

この歩道は通学路



図6

図4,5,6：自治会会員による撮影 23年12月

ご覧いただいたように、常識では考えられない危険な道路計画である。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

東生駒南自治会 会長 秋山 眞 TEL：090-1024-4627

# 生駒市からの回答と納得出来ない対応

生駒市からの提示された対応策は以下の通り。

1. 交通量が増加する危険を低減するべく、住宅地内の主要道路に狭窄措置を講じる。
2. 市交通指導員による登下校の立哨指導を行う。

狭窄部を設けるといのは、生駒市自体でも交通量増加による危険性を認識しているのだろう。通常走行時のすれ違いの危険が増すばかりでなく、狭窄された道路を避けて狭窄されていない住宅地内部の道まで自動車が走り回ることが要される。

立哨指導に関しても、担当職員は市全体で3名。公式回答ではあるが、毎日本当にできるわけがありません。



図7: 生駒市回答資料をもとに当自治会制作

☆生駒市は、要望書に対する回答(令和4年6月8日付)の中で、「道路・交通について」の文章の最後に現計画(学校前への接続ルート)以外に別ルートでの検討も指導しています、と回答しています。しかし開発業者の大岡産業は現在のルート以外方法はないの1点張りで、意見や要望を聴く姿勢は全くありませんでした。

## 第1回説明会自治会参加者の反応

～参加者のご意見～

住民に説明したので、理解してもらった、終わった、と思わないでほしい。今回が説明会の始まりだと考えてほしい。  
12mの道路を学童の所に狭くするという事は大変無謀なこと。早急に撤回してほしい。

資料の最後に東生駒4丁目からさつき台に抜けるバイパスが設けにくいという記載があったが、理解できない。学童に抜ける道は否があるので、バイパスを検討してほしい。

介護老人施設は変更と書いてあるが、これは一時的なものなのか。それとも将来ほどばかり冷めて、やりますという記載はないのか。もしないのであれば低層住宅、戸建住宅といった分類に転用してはどうか。

学童から先の道路は全てゾーン30。今でもバス通りの渋滞を避ける車が住宅地内を通る。520戸ほどの住宅が増えれば車も増えて当然。また商業施設ができれば、地域以外の人がかかることは想定できる。学童の所に道路をつなげるのは絶対にやめてほしい。

工事着工時期と完了時期を教えてください。

雨量調査は何のデータをもとに行われたのか。

この開発によって死者が出た時、テロパトラーとしてどう感じるのか。これだけの問題があっただけに利便性があると言えるのか。

さつき台へ繋がる道は現在6mの幅員だが、それを12mにしてはどうか。

当自治会の生活の事を考えているのか。

交通量調査を行ったのか。行ったのであれば、開発後の発生交通量が既存の南自治会に与える影響をアセスメントできるのではないのか。

工事中の車両は小学校の前に出てくると思う。ダンプが走り回る時間、交通量、またどれだけの期間続くのか教えてください。

生駒市と随分前から協議されていると思う。生駒市との協議はどの段階からスタートしたのか? またどれだけの協議経過をふまれたのか? 実際、都市計画法上ではどの段階で地元の説明になっているのか?

吾分地域については開発だから、おそらくもっと以前から具体的な開発内容について説明していると思う。いつ頃からどういう協議をされたのか参考までに教えてください。

生駒東小学校横への貫通道路は大岡産業として、開発上絶対に必要なのか? 168号線から入ってくるって回って出ていくという計画は出来ないのか? 仮に道路が出来たとしても歩行者専用にするという事は考えられないのか? 生駒市が街づくりとして絶対に必要な東西道路なのか? 生駒市から指導があったのか?

これまでどれだけの造成の経験があるのか。方々一々の保証はあるのか。説明している間に申請が進んで、開発が進むという事はないのか確認したい。吾分地域の利便性の為の商業施設だと思つので、あえて道を抜く必要はない。今後警察などと協議をして最終決定すると思うが、その前に必ず自治会にデータ等の開示をしてほしい。

都計書で説明された時点である程度資料が出来上がっているのではないのか? その段階で地元に対して何ら説明されない。事前の段階でこういう態度であれば、事業が認可され進んでいった時、吉情とかにどう対応をされていくのか不信感がある。本来、都計書の計画変更、公聴会にあたって我々いろいろな意見を出す前にこういう情報を出してもらわないと意見のしようがない。市の都市計画課も態度は同じ。つまり、住みよい町、生駒市にしていこうというスタンスがみじんも感じられない。この事に対してテロパトラーである大岡産業はどう考えているのか?

3月5日の公聴会で、今回関係する全ての自治会長さんは、事業者からの説明はないと口をそろえて言った。公のこういう説明会はその時点では行われていないという事です。それをふまえて都市計画審議会で議長は、それではだめだ。地元と協議をして、こじれるようであれば生駒市が間に入り調整して、事業を進めるようにしなさい。と結論づけた。また、開発の許可申請と用途地域の変更は同時にしなさいとも言われた。生駒市長から、そのようにする という回答を当自治会はもらっている。

「開発上は現状のルート以外方法はありません」とあるが、どういふことか? それなら協議しても無駄です。

他の自治会の方への説明はどの段階でしたのか。

開発地内の大規模商業施設には十分な駐車場が確保されるため、店舗の敷地面積を大きくしていると書いている。また商圏調査を行ったとも書いている。商圏調査はどのエリアを商圏とする調査なのか? この商圏から車で来るから駐車場が必要なのではないか。また、両側の交差点の事も書かれているが、交通量がかなり多くなるから、その想定元の図面を書いているのではないのか。我々は、貫通道路が出来れば交通量が増え通学児童にとっても高齢者にとっても危ないと考えている。それについて具体的にどう考えているのか?

一番最後のページの2つ目の項目の最後に、「その内容は周辺自治会・住民様に策定次第ご説明」と書かれてるが、これは制度上そうならない。審議会でも地元の話聞くようにと言われている。決めてからこうですという話ではない。その点テロパトラーとして地元に対する姿勢も説明してほしい。

【自治会への意見】  
まだまだ雰囲気温度が上がっていない。自分の事ではないと思っている方は多数いらっしゃる。道路が貫通した場合、逃げ道とか校道とか細い道に車がどんどん入って来るとか、環境とか、騒音とか、自動車における害などについてもっと自治会から知らせて、反対という気運を盛り上げないといけない。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

東生駒南自治会 会長 秋山 眞 TEL : 090-1024-4627

## 合意形成は全くできていない

生駒市は開発計画の合意形成を周辺自治会と進めています。開発自体の合意形成は当自治会以外は進展しているようで。しかしながら、道路接続の被害を受けるのは当自治会エリアです。開発全体で、まあ安全にやってくれたらよいというぐらいの合意と地域住民の生活が危険にさらされる当自治会の切迫度は違います。道路接続計画は公共の利益を著しく損害を与える計画です。これは先住民の工ゴとみなされないと自問自答しましたが、なんととしてでも今回の無謀な計画について良識的な判断を求めるものであります。当自治会は道路接続に断固反対です。

## その他の問題点

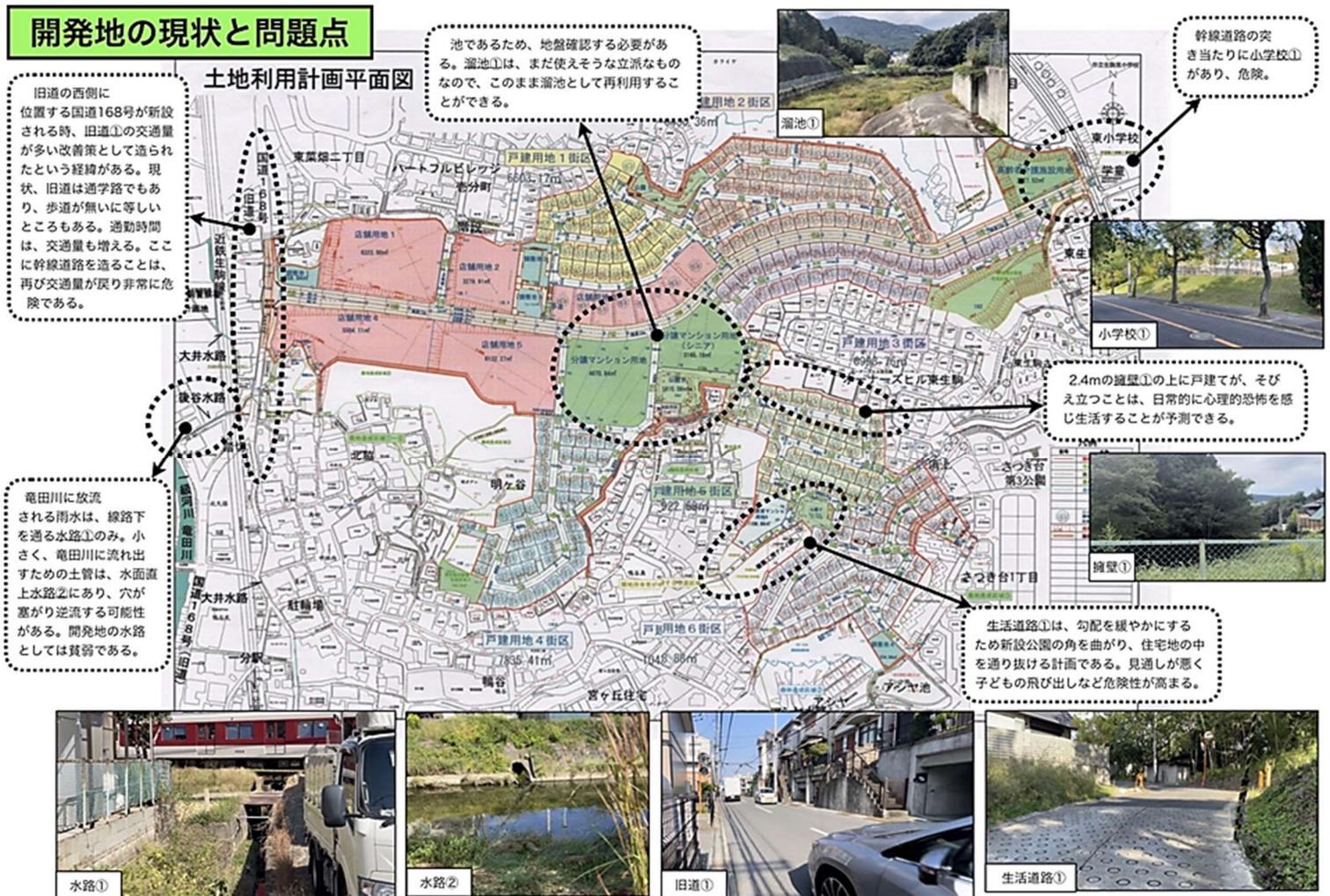


図 8 : (出典) 地球・竜田川・住民の負担となる都市開発の見直しを求めます！ より

本件お問合せ先：

東生駒南自治会 会長 秋山 眞

090-1024-4627

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

東生駒南自治会 会長 秋山 眞 TEL : 090-1024-4627